

第12回きょうと地域福祉活動実践交流会 コロナで5年ぶりのクロス交流！



2月2日、「地域の力をクロス！～“つづき”からはじまる多様性～」をテーマに、今年度は我が山城西ブロック（旧綴喜地区社協）の当番で八幡市文化センターにて開催。

近年はコロナ禍のためオンラインや一部参集のハイブリッド型で実施していましたが、5年ぶりに京都府下社協の福祉関係者やボランティアさん等が顔を合わせ約800人の来場者で賑わいました。

今回は地元の中学・高校生の運営参加も得ながら、メインのクロストークでは宇治田原町社協登録ボランティア団体「はあとるっむ～KOKOROのシェア広場～」が『出逢いが生み出す私たちのストーリー』と題して実践発表し、天理大学准教授の北垣智基先生にコーディネートいただきました。

その後のクロスタイムでは、会場の公開ラジオ風セッションとホール外に展示された各地域のコロナ（協働）ポスターを介して中継を交えながら情報交換しました。



登壇する
はあとるっむ
「ふつつって…あたりまえ
って…、…なんだろう…」



ポスターセッション
(宇治田原町コーナー)



連合会長が高校生
と一緒に開会宣言

はあとるっむは、知的・発達障がいなど当事者と、その家族を囲むシェア（分かち合い）団体として令和3年8月に発足。“あなたと、あなたの大切な人の個性に寄り添いKOKOROをあたため合える場所をめざします”

実践報告では山下京代表、蜂須賀リカ副代表、今西由紀副代表の団体説明に続き、活動を通じて出逢った会員である、齊藤仁さん（クレソン農家）、山本琢斗さん（大学生）からは、障がいを通しての「活かし合い」「支え合い」を、ズオン・ヴァン・タンさん（ベトナム出身）からは、山下代表と共に「認め合い」のカタチが語られました。

アンケート一部抜粋

- ・想いがよく伝わり、出合いや繋がりの大切さを再確認。
- ・内容が凝っていて非常に聞き取りやすく感動した。
- ・マイノリティや多文化共生など福祉の光が当たりにくいテーマを採用されたことに、本来社協として目指すべきところの原点と方向性の意義を感じた。
- ・発達障害の方の社会との関わり、外国人労働者の方と世話人の方との関係性が分かりやすかった。
- ・活動者として近隣住民を含めて巻き込んでいくパワーが素晴らしい。
- ・自然に活動が生まれつながら広がっていく様子がとても素敵で、このような地域づくりを進めていきたい。
- ・個別のストーリーと団体のストーリーを見事に「クロス」して報告いただいた。

最後は『やっと会えたね♪全員集合！みんなでクロスポーズ！！』



写真で見る（昨年夏以降）社協事業

一人親家庭のつどい（児童青少年福祉部会）



8/5 アクアライナークルーズ(写真:水上バス乗船)やNHK大阪放送局見学とホテル京阪のバイキング(33名)

聞こえのサロン(障害児者福祉部会)



8/1 サマースクールとドッキングで、脳活性化ゲームと炭坑節踊り(32名)、2/13 ゲームと卓球バレー(26名)

一人暮らし高齢者・わかばのつどい（老人福祉部会）



9/20 丹波のメグミ☆あじわいの旅！メグミルク京都工場見学と「味夢の里」の買い物と食事ツアー(32名)

福祉バザーミニ(総務部会)



11/3 商工祭(住民グランド)にて、1500点以上の物品提供をいただき収益は280,657円。ありがとうございました！

サンタがおうちにやってくる！（三部会事業）



12/16.17 一人暮らし高齢者・わかばの方(35名)
12/23.24 一人親家庭・障害児の方(39件55名)

歳末たすけあい運動(総務部会)



募金総額 838,011円を福祉施設・ボランティア団体・ふれあいサロン(35団体)と12/31おせち料理(35名)に配分

善意のご寄付 <令和6年7月～令和7年2月>

寄付金 合計142,200円 ・下岡 雅昭(南)様 ・大正琴宇治田原町さざんかサークル様
・(有)今晋構造設計事務所(代表取締役:今西晋作)様
・町老連 囲碁クラブ(やすらぎ荘)様 ・匿名様

物品 ・中村 茂喜(京都市)様/缶詰等のレトルト食品4箱
・上辻 容子(岩山)様/もち米15kg ・下岡 幸子(立川)様/手編み帽子7点
・西尾 昇(奥山田)様/薪35束 ・安部 信子(立川)様/手編みベストや小物類12点
・緑苑坂みどり会(代表:藤井 トシ子)様/手作り雑巾45枚